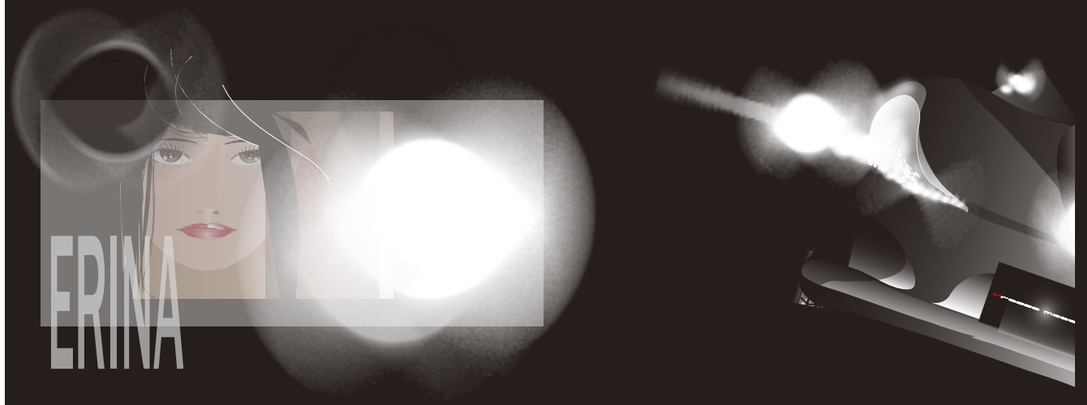
GTD-code:ALFA for Thrustmaster T500RS & TH8RS

ROSSO MODELLO

この度は、GTDシミュレーターコードアルファをお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。組立をする前に必ず、本説明書をよくお読みになってから、正しくお使いください。



これより、私ERINAが組立てに際してご説明させて頂きますので、宜しくお願いします。

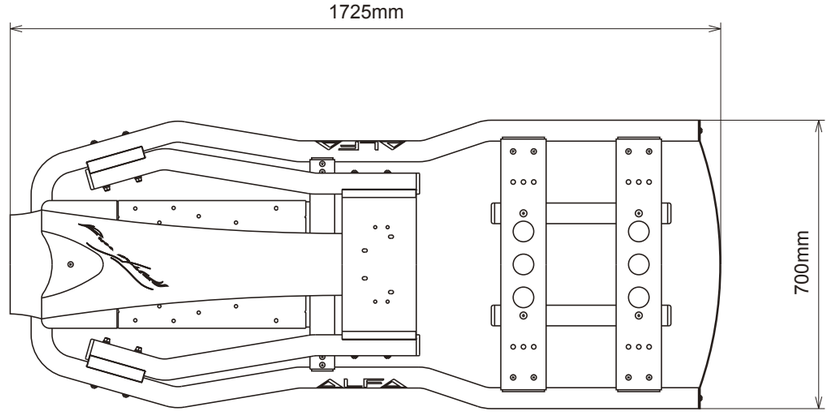
（1） 組立てをする前に準備するもの

まず、組立てを行う前に使用する工具などについて、ご説明をさせて頂きます。
使用する工具はプラスのドライバーを1本、13mmのスパナを1本用意します。
六角レンチも使用しますが、これは付属品として同梱させて頂いております。
その他に、シートレールを触るのにグリス（油）が手に着いてしまう恐れがあるので軍手とウエス（タオル）を用意しておいた方が良いでしょう。

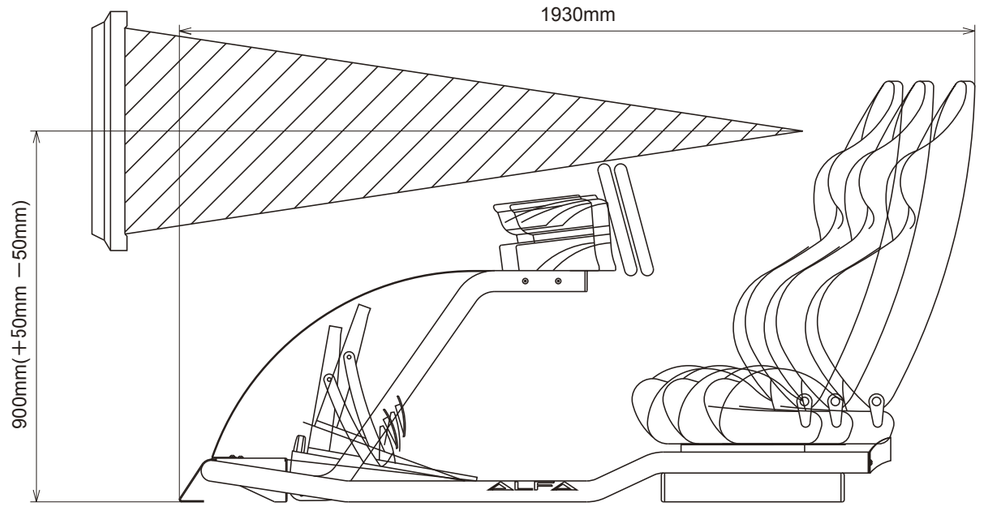
使用工具　プラスドライバー（1本） / 13mmスパナ（1本） / 軍手 / ウエス（タオル）

GTD-code : ALFA

FRAME ASSY SIZE



MONITOR BEST POSITION （42inch）



※注1.） モニターの高さは身長など、個人差がありますので目安として考えてください。

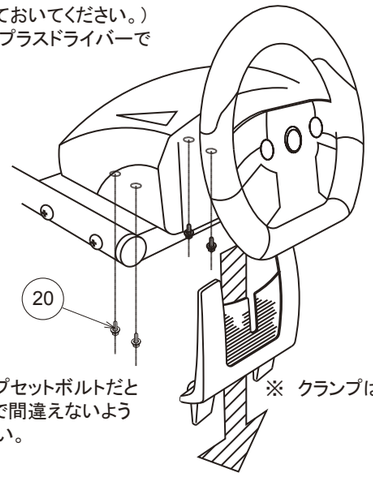
※注2.） シフトベースを取付けた場合は幅が若干、大きくなります。

※注3.） 商品は予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

それでは、ベストラップを目指してベストドライビングを、お楽しみください。

ファナテック　CSRホイール、エリート　取付方法　　fitting for FANATEC CSR wheel、elite

1　まず、クランプを取り外します。（クランプは使用しません。大切に保管しておいてください。）
取り付けには付属の23 M6X20アプセットボルト（4箇所）で固定します。プラスドライバーで固定できます。



※　22 M6X15アプセットボルトだと届きませんので間違えないよう注意してください。

※　クランプは取り外します。

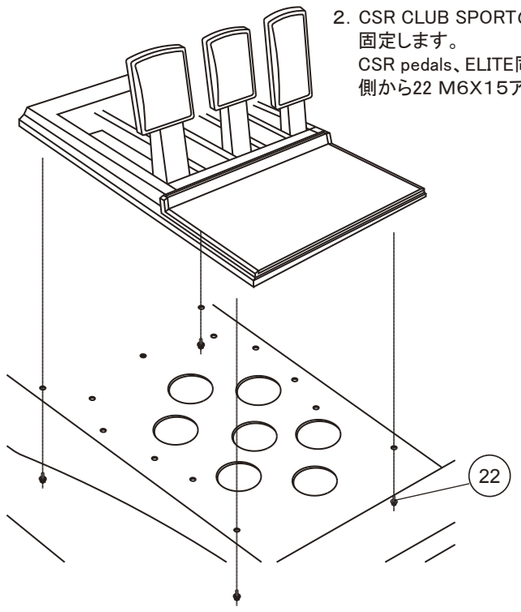
※　エリートの取り付けに関しては、専用のブラケットをつけた状態のみ取り付け可能になります。

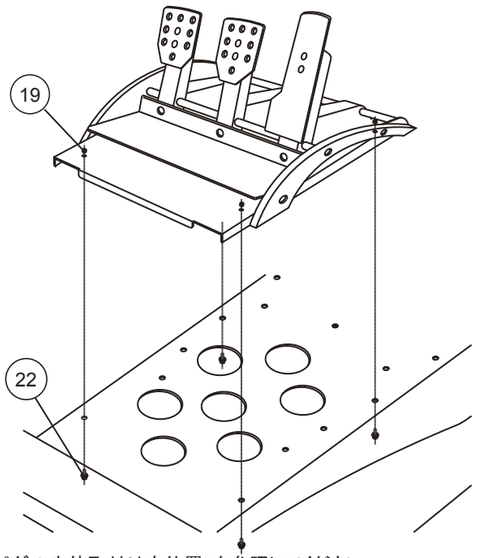
ファナテック　CSRペダル、CSRエリート、CSRクラブスポーツ　取付方法

fitting for FANATEC CSR pedals、CSR ELITE、 CSR CLUB SPORT

1. FANATEC製CSRペダル(CSR pedals)及びCSRエリート(CSR ELITE)の取付け方法はペダルベースにペダル本体をのせ、ベース図の穴位置に埋め込みナットがくるように合わせて、ペダルベース裏側から付属の22 M6X15アプセットボルトで固定します。
取付けは4箇所で行います。

2. CSR CLUB SPORTの取付け方法は付属の22 M6X15アプセットボルトと⑯M6ナットを使用して固定します。
CSR pedals、ELITE同様、ベース図の指定穴位置にペダル本体の穴位置を合わせて、ベース裏側から22 M6X15アプセットボルト、ペダル側から⑲M6ナットで固定します。





※　ペダル固定穴位置は別ページ「GTD－code：ALFA　ペダルベース　各ペダル本体取付け穴位置」を参照してください。
※　CLUB SPORT取付け時にペダル本体ブラケット穴部分にクッションゴムのテープ膜がついております。かまわず、ボルトを差し込んで貫通させてから取付けてください。

（2）　組立てはなるべく、2人以上で行ってください

　組立ては2人以上で行うのがベストです。もちろん、1人でも行えますが、効率を考えるのであれば是非とも2人以上で行うことをお勧めします。

（3）　箱をあけたら、まず、欠品がないか？確認をしてください

　商品が届き、箱をあけたら、まず、欠品がないかを確認してください。
商品到着後、長期日数が経過してからのクレームにはお応えできない場合がございますので、予めご了承ください。

（4）　組立てには本体にキズをつけない様に最善の注意を払ってください

　GTD－code：ALFA本体の各パーツには、粉体塗装が施されておりますので、多少の衝撃にはキズが付きにくい仕様となっております。但し、ハンドルコントローラー類を取付けるとき（特にT500RSペダルを取付ける際）は本体フレームにキズをつけない様に最善の注意をはらって取付を行ってください。

（5）　ネジ山などをダメにしてしまったら・・・

　ネジの山をダメにしてしまったり、ネジ頭をかじってしまった場合は、最寄のホームセンターなどで、ご購入することをお勧めします。但し、一部付属のパーツには特殊なものも使用しておりますので、その際は弊社窓口までお問い合わせください。

　お問い合わせ先は、本説明書裏面に記載してあります。

（6）　その他

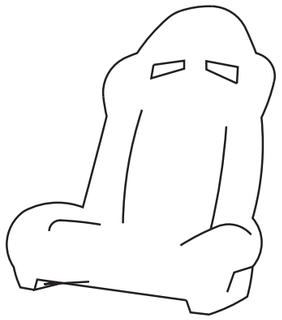
　そのほか、ご不明な点がございましたら、弊社窓口までお問い合わせください。
ご意見、ご要望も受け付けておりますので、皆さまのアイデア等を是非、ご連絡ください。

　ご検討させていただきます。

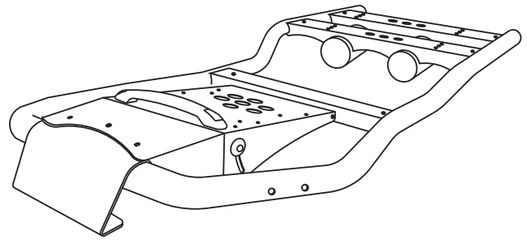
以上、REINAでした。

GTDコードアルファ部品構成表　GTD-code:ALFA parts list

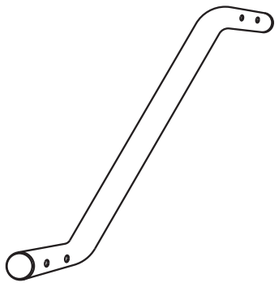
1　箱をあけましたら、部品の欠品などないかを、この部品構成表と照らし合わせて確認してください。



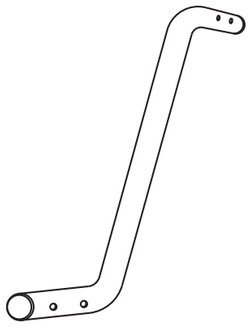
seat
① シート本体
数量　1　／　QTY.1



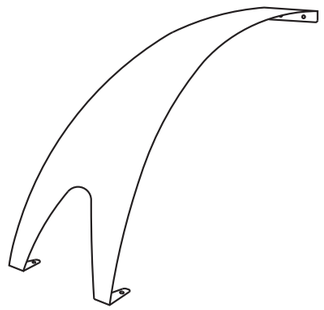
base
② ベース本体
数量　1　／　QTY.1



arm right
③ アーム R
数量　1　／　QTY.1

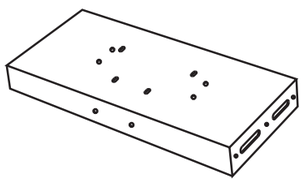


arm left
④ アーム L
数量　1　／　QTY.1



top plate
⑤ トッププレート
数量　1　／　QTY.1

rearplate
⑥ リヤプレート
数量　1　／　QTY.1



steering base
⑦ ステアリングベース
数量　1　／　QTY.1

bracket . pedal fix (For driving force)
⑧ ペダル固定ブラケット（Driving　Force用）
数量　1　／　QTY.1

bracket . pedal fix (For T500RS)
⑨ ペダル固定ブラケット（T500RS用）
数量　1　／　QTY.1

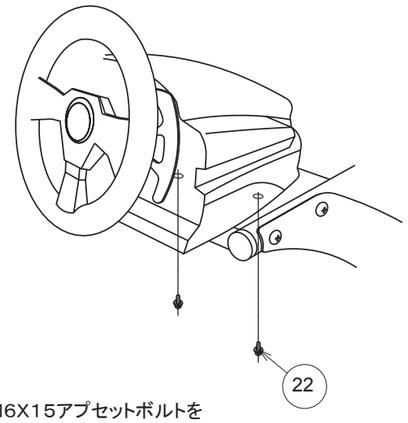
nut plate
⑩ ナットプレート
数量　2　／　QTY.2

spacerA
⑪ スペーサーA
数量　2　／　QTY.2

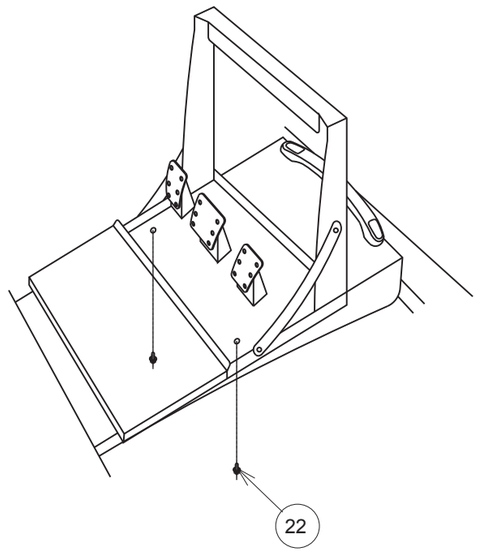
spacerB
⑫ スペーサーB
数量　2　／　QTY.2

スラストマスター　T500RS　取付方法　fitting　for　Thrustmaster　T500RS

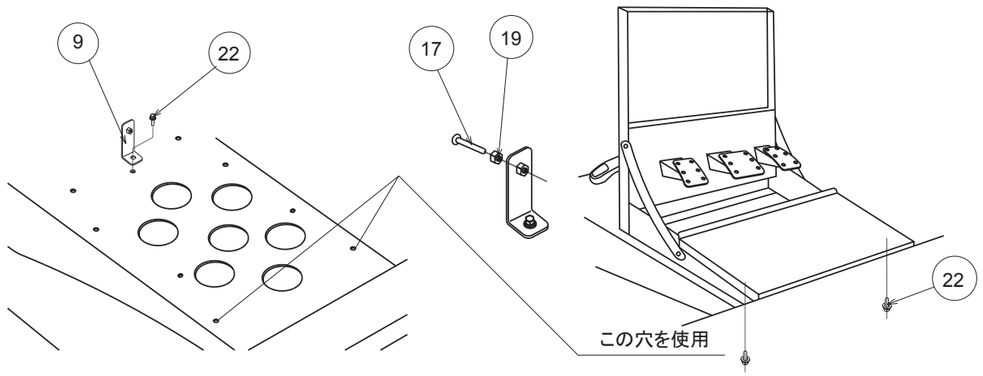
1　ステアリングホイールは2箇所の固定ナットを使って取り付けを行います。ステアリング下側図の位置にあるナットに22 M6X15アプセットボルトでしっかりと固定します。



2　ペダルの固定方法はF1ポジションの場合、ベース本体図の位置に22 M6X15アプセットボルトを使用して固定します。

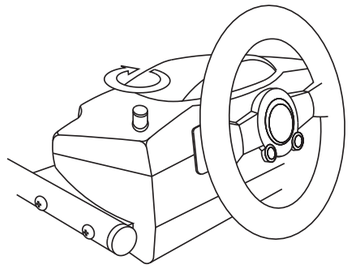


3　ペダルをGT、ラリーポジションでセットする場合は22 M6×15アプセットボルトでT500RSペダル下側のクッションが付いているタップ部で固定します。次に、⑨ペダル固定ブラケットを図のように、22 M6×15アプセットボルトで固定します。17 トラスネジでT500RSペダルを抑えて19 M6ナットでネジが回らないように、最後にロックします。

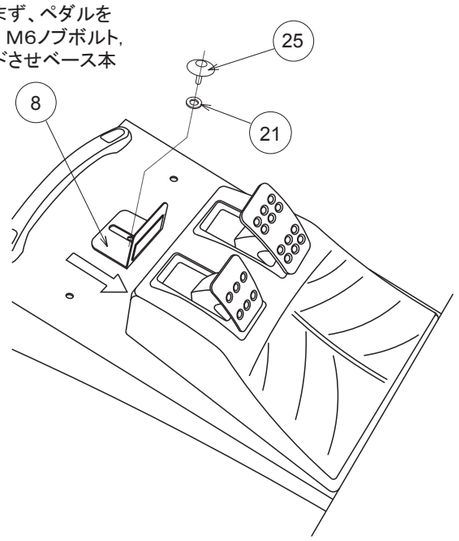


ロジクール　ドライビングフォースGT　取付方法　　fitting for Logicool Driving Force GT

1　ステアリングホイールは2箇所のクランプ固定で取り付けを行います。ステアリングベースに
クランプを挟み込んでしっかりと固定してください。

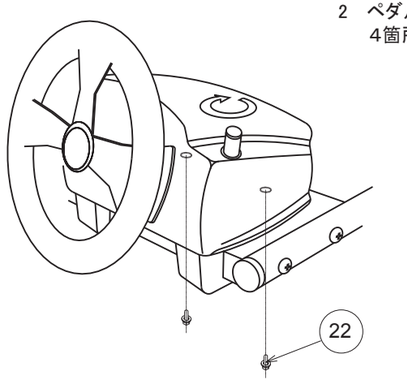


2　ペダルの固定方法は専用の⑧ペダル固定ブラケットを使用して固定します。まず、ペダルを
図の位置において、ペダル固定ブラケットを図の位置にあてがい、付属の25　M6ノブボルト,
21 M8平ワッシャーで固定します。固定方法はブラケットをペダル側にスライドさせベース本
体と挟み込むようにして固定します。

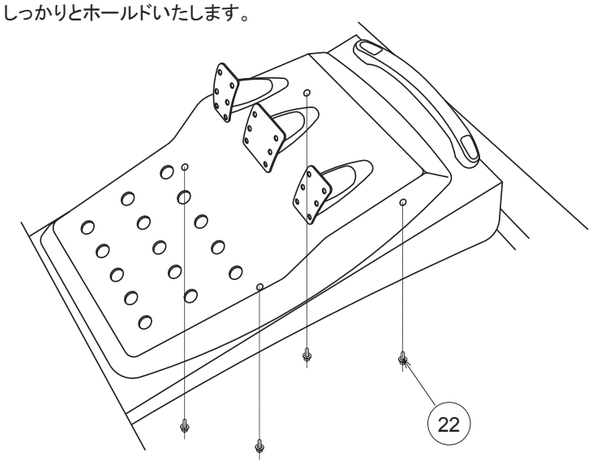


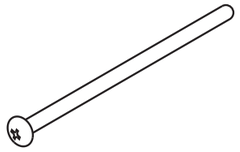
ロジクール　G27(G25)ホイール、ペダル　取付方法　　fitting for Logicool G27(G25)wheel、pedal

1　ステアリングホイールは2箇所のクランプ固定で取り付けを行います。ステアリングベースに
クランプを挟み込んでしっかりと固定してください。補助として、付属の22 M6X15アプセット
ボルトで固定すれば、尚、しっかりと固定することができます。プラスドライバーで固定できます。

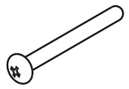


2　ペダルの固定方法はベース本体図の位置に22 M6X15アプセットボルトを使用して固定します。
4箇所を止めることで、しっかりとホールドいたします。





bolt truss 8X120mm
⑬ M8X120トラスネジ
数量　4　／　QTY.4



bolt.truss 8X70mm
⑭ M8X70トラスネジ
数量　4　／　QTY.4

bolt.cap 8X15mm
⑮ M8X15キャップボルト
数量　4　／　QTY.4

nut.hex 8mm
⑯ M8ナット
数量　8　／　QTY.8

bolt.truss 6X30mm
⑰ M6X30トラスネジ
数量　1　／　QTY.1

bolt.truss 6X15mm
⑱ M6X15トラスネジ
数量　4　／　QTY.4

nut.hex 6mm
⑲ M6ナット
数量　4　／　QTY.4

spring washer 8mm
⑳ M8SPワッシャー
数量　4　／　QTY.4

Flat washer 8mm
21 M8平ワッシャー
数量　9　／　QTY.9

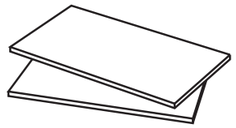
upset P3 6X15mm
22 M6X15アプセット
数量　6　／　QTY.6

upset P3 6X20mm
23 M6X20アプセット
数量　4　／　QTY.4

bolt.truss 5X6mm
24 M5X6トラスネジ
数量　4　／　QTY.4

knob bolt 6X15mm
25 M6ノブボルト
数量　1　／　QTY.1

wrench.hex 5mm
26 六角レンチ
数量　1　／　QTY.1



cushion
27 クッション
数量　1　／　QTY.1

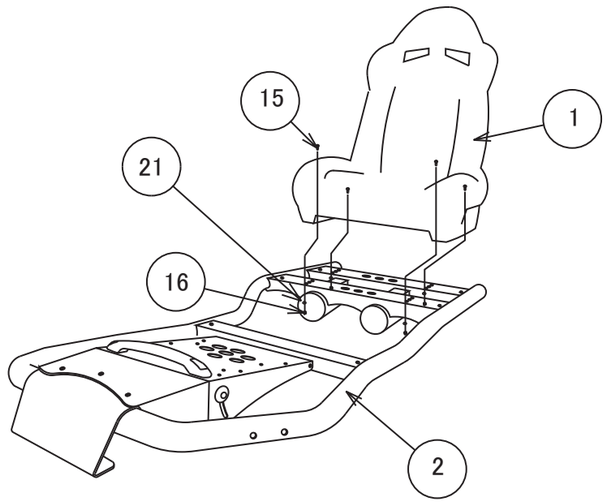
cord band
28 結束バンド
数量　3　／　QTY.3

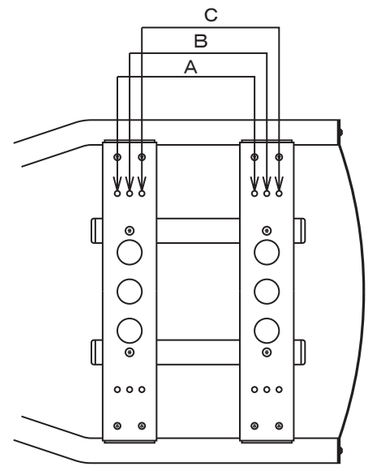
※ ⑧ペダル固定ブラケット、21 M8平ワッシャー（1枚）、25 M6ノブボルトはDriving Force GT専用部品となります。
G27レーシング ホイール、T500RSには使用しません。
※ ⑨ペダル固定ブラケット、17 M6×30トラスネジ、19 M6ナットはT500RS取付け方法2のみ使用します。
※ 22 M6X15アプセットはG27レーシング ホイール及びT500RS専用部品となります。Driving Force GTには
使用しません。
※ 23 M6X20アプセットはFANATEC製 CSRホイール専用部品となります。

使用工具　　＋ドライバー、13mmスパナ

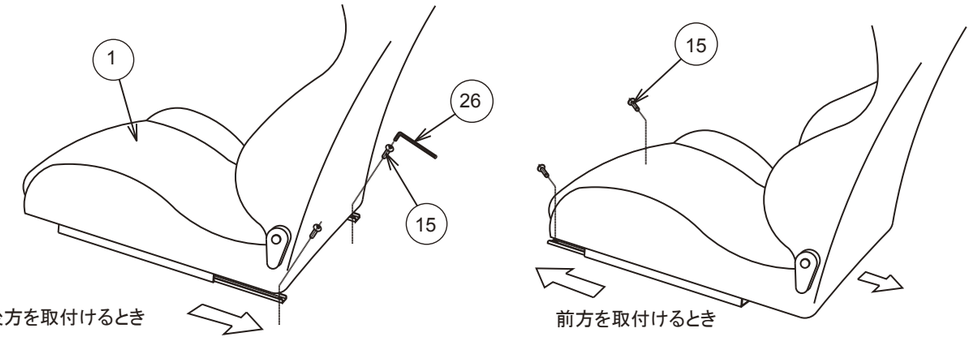
GT5000D-CA　GTDコードアルファ組立図　　GT5000D-CA GTD-code:ALFA assembly draw

1　まず、②ベース本体に①シート本体を取付けます。固定には⑮M8X15キャップボルトと⑯M8ナット,M8平ワッシャー21で固定します。（4箇所）
シート取付け穴はA、B、Cの3箇所あり、体格に応じて取付け調整が可能です。基本AかB（身長180cmぐらいまで）で問題はありません。

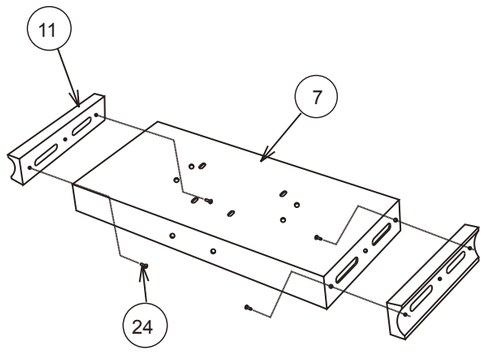




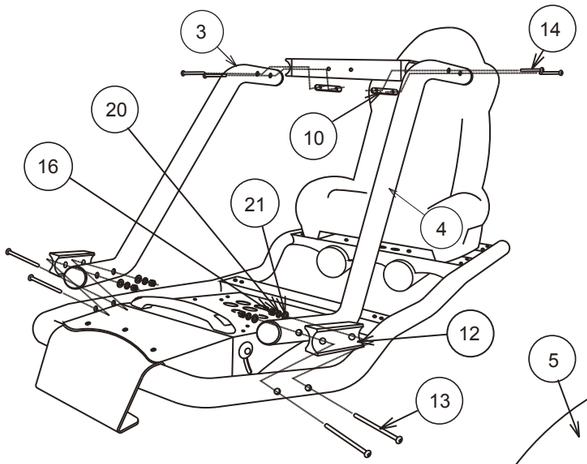
シートを取付けるときは、シートレールを引き出して固定します。このとき手にグリスが着きますので軍手を着用ください。



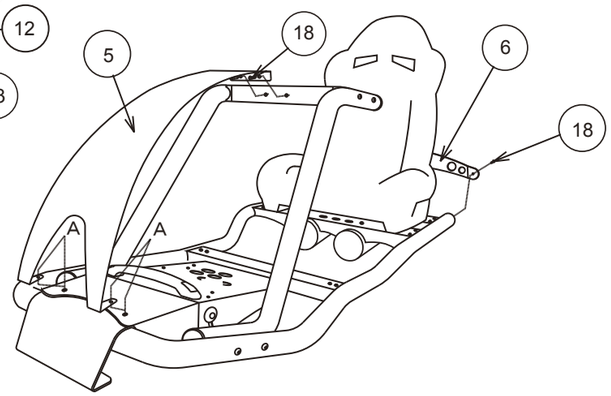
2　⑦ステアリングベースに⑪スペーサーAを付属の24　M5X6トラスネジで固定します。（片側2箇所。計4箇所）
3箇所止め穴がありますが、真ん中は使用しません。



3　②ベース本体に③、④アームR・Lを取付けます。このとき②ベース本体と③、④アームの中間に⑫スペーサーB
をはさんで⑬M8X120トラスネジと⑯M8ナット、⑳M8SPワッシャー、21　M8平ワッシャーで仮固定します。
次に2で組んだ⑦ステアリングベースを③、④アーム上段に⑭M8X70トラスネジと⑩ナットプレートで固定します。
バランスを確認したらすべてのネジを増し締めし、しっかりと固定します。



4　最後に⑤トッププレートと⑥リヤプレートを付属の
⑱M6X15トラスネジで固定します。
⑤トッププレート固定のA部は②ベース本体に固
定されていたM6X15トラスネジを一旦はずし、
再利用します。



GTD-code：ALFA ホイールベース　各ホイール本体取付け穴位置
fitting hole positions　for GTD-code:ALFA wheelbase

ここでは、各メーカーのホイール取付け穴位置についてご説明しております。基本、ボルトにによる固定方法となっておりますが、ロジクール ドライビングフォースGTのみクランプによる固定となります。

ロジクール ドライビングフォースGT （Logicool Driving Force GT）

専用のクランプでの固定となります。ボルトでの固定はありません。

ロジクール G27（G25）レーシング ホイール （Logicool G27&G25 Racing Wheel）

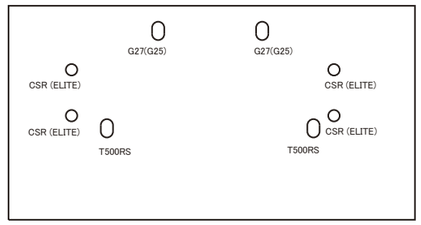
右図、G27（G25）取付け穴（2箇所）で固定します。G27（G25）ホイール本体側にナット（M6）が埋め込まれております。ホイールベース裏側より付属のボルトで固定します。

スラストマスター T500RS （Thrustmaster T500RS）

右図、T500RS取付け穴（2箇所）で固定します。T500RSホイール本体側にナット（M6）が埋め込まれております。ホイールベース裏側より付属のボルトで固定します。

ファナテック CSRホイール＆CSRエリート （FANATEC CSR wheel & CSR ELITE）

右図、CSR wheel（CSR ELITE）取付け穴（4箇所）で固定します。CSRホイール本体側にナット（M6）が埋め込まれております。ホイールベース裏側より付属のボルトで固定します。



※ CSR ELITEの取付けに関しては専用ブラケットをホイール本体に取付けた場合のみベースに取付が可能です。

※ 本取付け穴位置は2012年3月末日現在のもので、弊社が取付けを確認をし、設定した穴位置になっております。各メーカーがペダルの設変等を行った場合、穴位置が合わない事がありますので、ご了承ください。

GTD-code：ALFA ペダルベース　各ペダル本体取付け穴位置
fitting hole positions　for GTD-code:ALFA pedalbase

ここでは、各メーカーのペダル取付け穴位置についてご説明しております。基本、ボルトにによる固定方法となっておりますが、ロジクール ドライビングフォースGTのみL字ブラケットによる固定となります。

ロジクール ドライビングフォースGT （Logicool Driving Force GT）

専用のL字ブラケットでの固定となります。ボルトでの固定はありません。

ロジクール G27（G25）レーシング ホイール （Logicool G27&G25 Racing Wheel）

右図、G27（G25）取付け穴（4箇所）で固定します。G27（G25）ペダル本体側にナット（M6）が埋め込まれております。ペダルベース裏側より付属のボルトで固定します。

スラストマスター T500RS （Thrustmaster T500RS）

右図、T500RS（F1またはRallyポジション）取付け穴（各2箇所）で固定します。
T500RS本体側にタップ（M6）が加工されております。ペダルベース裏側より、
付属のボルトで固定します。
ラリーポジションにはプラス、専用のL字ブラケットでアシストします。

ファナテック CSRペダル＆CSRエリート （FANATEC CSR pedals & CSR ELITE）

右図、CSR pedals（CSR ELITE）取付け穴（4箇所）で固定します。CSRペダル本体側にナット（M6）が埋め込まれております。ペダルベース裏側より付属のボルトで固定します。

ファナテック CSRクラブスポーツ （FANATEC CSR CLUB SPORT）

右図、CSR CLUB SPORT取付け穴（4箇所）で固定します。クラブスポーツはペダル本体にはナットが付いておりません。取付けには付属のM6ボルト、M6ナットを使用して固定します。

※ 本取付け穴位置は2012年3月末日現在のもので、弊社が取付けを確認し、設定した穴位置になっております。各メーカーがペダルの設変等を行った場合、穴位置が合わない事がありますので、ご了承ください。